

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月29日

上場会社名 株式会社 ヤギ
 コード番号 7460 URL <http://www.vaginet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 八木秀夫
 (氏名) 南 秀幸
 配当支払開始予定日 未定

TEL 06-6266-7332

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	56,463	1.5	1,901	△8.0	2,064	5.9	1,078	23.8
24年3月期第2四半期	55,614	5.6	2,066	27.6	1,950	24.9	870	△2.2

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 682百万円 (21.4%) 24年3月期第2四半期 562百万円 (17.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	128.37	—
24年3月期第2四半期	103.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	53,265	24,542	46.1
24年3月期	51,470	24,238	47.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 24,537百万円 24年3月期 24,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	3.5	3,800	1.7	3,700	5.2	2,270	22.3	270.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

年次で業績管理を行っておりますので、第3四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	10,568,000 株	24年3月期	10,568,000 株
25年3月期2Q	2,169,041 株	24年3月期	2,168,721 株
25年3月期2Q	8,399,082 株	24年3月期2Q	8,399,417 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成24年5月14日に公表いたしました連結業績予想について本資料において修正しておりません。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表規則」に従い作成しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気が依然として厳しい状況にあったものの、震災復興需要等を背景として緩やかな回復基調がみられました。しかしながら、欧州債務危機問題、金融資本市場の変動による世界景気のさらなる下振れや国内政治の混迷など、不確実性が高いなかで低調に推移しました。

繊維業界におきましても、一部に消費者マインドの回復が見られたものの、厳しさが残る雇用情勢やデフレの影響など先行きの不透明感を背景に節約志向は長期化し、また天候不順も加わり厳しい状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、中期経営計画「NEW YAGI 120」の2年目にあたり、重点施策である「海外市場の開拓」「川下志向」「機能強化」「人材育成と社内インフラの整備」を進めております。原料、テキスタイル、繊維二次製品の各部門におきまして、高付加価値商品の開発や優良取引先との取り組み強化に注力するとともに、引き続きチャイナプラスワンの開発を進めており、その一環として設立・出資した生産拠点を含め供給体制の強化を図っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は56,463百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は1,901百万円（前年同期比8.0%減）、経常利益は2,064百万円（前年同期比5.9%増）、四半期純利益は1,078百万円（前年同期比23.8%増）となりました。

なお、事業セグメント別の売上高の状況は、以下のとおりであります。

[繊維セグメント]

<原料部門>

原料部門では、天然繊維分野・合成繊維分野ともに、衣料用途において長期化する円高の影響により繊維二次製品輸入へのシフトに歯止めがかからず、糸の使用量が低迷し、国内産地の冷え込みが深刻化しております。資材用途においても、高機能糸を中心に中国製の廉価商品との競争が激しくなっており厳しい状況で推移しております。

このような状況の下、当社グループは優良取引先との取り組みを深め、高強力糸などの高付加価値商品の拡販に注力するとともに、生産集約化により加工効率を高めロス削減に努めてまいりました。

この結果、原料部門は売上高9,487百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

<テキスタイル部門>

テキスタイル部門では、原料部門と同様、加速する繊維二次製品輸入へのシフトの影響を受け、活気を欠いた商況が続きました。また残暑の影響で秋冬商品の動きが停滞し、受注が不足するなど厳しい環境下で苦戦を強いられております。

このような状況の下、当社グループは、機能素材のほか天然素材のオリジナル商品も含め拡販を推し進めてまいりました。また中心的な販売戦略である「テキスタイル・プロジェクト」では、素材企画力の強化により幅広い提案を行い、顧客の要望にきめ細かく対応するとともに商品差別化に努めてまいりました。

この結果、テキスタイル部門は売上高7,570百万円（前年同期比6.0%減）となりました。

<繊維二次製品部門>

繊維二次製品部門では、売れ筋商品の不足や店頭でのセール時期の分散化により、春夏商品の売行きが勢いを欠いたうえ、長引く残暑で秋冬商品の動きも鈍く、厳しい環境下で低調に推移しました。また店頭価格を上げられない状況のなか、生産面ではコストアップが続き収益確保に苦しむ現状にあります。

このような状況の下、当社グループは、優良取引先との取り組み深耕に尽力するほか、衣料分野では積極的にODM（企画段階から請け負い、製造、供給する）生産を推進するなど競争力強化に努めてまいりました。また非衣料分野でも消費者の節電意識の向上に対応した高機能涼感商品などの拡販に注力してまいりました。

さらに、生産体制においてチャイナプラスワンの海外拠点を有効に活用し安定供給を図るとともに、中期経営計画に基づき、中国市場での販売やブランドビジネスを推し進めてまいりました。

この結果、繊維二次製品部門は売上高37,865百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

[不動産セグメント]

当第2四半期連結累計期間における不動産セグメントは売上高150百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2,459百万円増加し、43,440百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ664百万円減少し、9,824百万円となりました。これは、時価の下落に伴い投資有価証券の時価評価差額が減少したことが主な要因であります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1,636百万円増加し、26,094百万円となりました。これは、短期借入金が増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ145百万円減少し、2,627百万円となりました。これは、投資有価証券の時価評価差額の減少に伴い、繰延税金負債が減少したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ303百万円増加し、24,542百万円となりました。これは、四半期純利益が1,078百万円計上されたことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想に関しましては、前回予想（平成24年5月14日に発表いたしました連結業績予想）から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,223,866	3,218,672
受取手形及び売掛金	30,132,771	32,127,829
有価証券	73,349	73,374
たな卸資産	6,368,566	6,942,732
繰延税金資産	630,587	699,204
その他	683,250	518,368
貸倒引当金	△131,079	△139,520
流動資産合計	40,981,313	43,440,662
固定資産		
有形固定資産	4,171,578	4,079,489
無形固定資産	25,414	15,000
投資その他の資産		
投資有価証券	4,493,768	4,024,531
その他	2,098,431	2,167,926
投資損失引当金	—	△123,192
貸倒引当金	△300,222	△339,366
投資その他の資産合計	6,291,977	5,729,899
固定資産合計	10,488,970	9,824,389
資産合計	51,470,283	53,265,051
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,078,171	14,821,703
短期借入金	4,647,042	5,858,986
未払法人税等	797,829	796,100
引当金	817,027	674,240
その他	4,118,449	3,943,672
流動負債合計	24,458,520	26,094,704
固定負債		
繰延税金負債	341,310	182,352
退職給付引当金	688,907	715,661
その他の引当金	210,820	215,911
その他	1,531,931	1,513,708
固定負債合計	2,772,970	2,627,634
負債合計	27,231,491	28,722,338
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,088,000	1,088,000
資本剰余金	805,188	805,188
利益剰余金	23,284,249	23,984,509
自己株式	△1,628,705	△1,629,122
株主資本合計	23,548,732	24,248,575
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	655,343	371,419
繰延ヘッジ損益	101,876	△13,626
為替換算調整勘定	△72,169	△68,640
その他の包括利益累計額合計	685,050	289,153
少数株主持分	5,009	4,984
純資産合計	24,238,792	24,542,713
負債純資産合計	51,470,283	53,265,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	55,614,799	56,463,797
売上原価	48,081,229	49,024,282
売上総利益	7,533,570	7,439,515
販売費及び一般管理費	5,467,527	5,538,257
営業利益	2,066,043	1,901,257
営業外収益		
受取利息	10,337	8,788
受取配当金	77,549	77,119
為替差益	—	132,912
その他	28,170	17,150
営業外収益合計	116,057	235,971
営業外費用		
支払利息	22,331	20,521
売上割引	50,041	43,484
為替差損	153,526	—
その他	5,918	8,774
営業外費用合計	231,818	72,780
経常利益	1,950,282	2,064,449
特別損失		
投資有価証券評価損	—	43,890
投資損失引当金繰入額	—	123,192
貸倒引当金繰入額	—	40,630
関係会社出資金評価損	262,055	—
特別損失合計	262,055	207,712
税金等調整前四半期純利益	1,688,227	1,856,736
法人税等	817,426	778,499
少数株主損益調整前四半期純利益	870,800	1,078,236
少数株主利益	156	8
四半期純利益	870,644	1,078,227

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	870,800	1,078,236
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△168,667	△283,931
繰延ヘッジ損益	△138,613	△115,503
為替換算調整勘定	△1,501	3,529
その他の包括利益合計	△308,782	△395,905
四半期包括利益	562,018	682,330
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	561,862	682,330
少数株主に係る四半期包括利益	155	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,688,227	1,856,736
減価償却費	154,344	146,303
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	—	123,192
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,064	47,584
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△55,458	△81,363
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△92,000	△105,000
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	15,651	43,576
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	48,401	26,754
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△23,256	△18,210
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△7,040	5,090
受取利息及び受取配当金	△87,887	△85,908
支払利息	22,331	20,521
関係会社出資金評価損	262,055	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	43,890
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,209,495	△1,995,057
固定化債権の増減額 (△は増加)	12,145	△16,713
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△930,063	△574,166
仕入債務の増減額 (△は減少)	75,170	764,132
未払金の増減額 (△は減少)	453,346	△318,123
その他	103,254	87,047
小計	427,662	△29,715
利息及び配当金の受取額	87,724	85,796
利息の支払額	△22,680	△20,479
法人税等の支払額	△805,272	△776,647
営業活動によるキャッシュ・フロー	△312,566	△741,046
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△374,055	△134,428
定期預金の払戻による収入	158,000	198,000
有価証券の償還による収入	20,000	—
有形固定資産の取得による支出	△131,250	△64,417
投資有価証券の取得による支出	△80,688	△5,736
出資金の払込による支出	△23,769	—
関係会社株式の取得による支出	△29,575	△16,184
貸付けによる支出	△390,685	△88,903
貸付金の回収による収入	45,176	65,479
その他	21,406	△5,813
投資活動によるキャッシュ・フロー	△785,441	△52,003
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	602,955	1,211,943
長期借入れによる収入	—	14,589
自己株式の取得による支出	△102	△417
配当金の支払額	△374,673	△376,909
その他	△25	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	228,155	849,181
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,246	2,246
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△878,099	58,378
現金及び現金同等物の期首残高	3,178,068	2,050,671
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,299,969	2,109,049

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。